

季節の注意したい子どもの症状①

「ウイルス性胃腸炎」

主な症状

「吐き気や嘔吐」「腹痛」「下痢」が主な症状です。発熱や関節の痛み、だるさなどインフルエンザに似たような症状を伴う事もあります。



小児科医師

感染力が高い

感染力が強く、家族内感染を来しやすいです。感染したお子さんの嘔吐物や便を片付ける際、ウイルスが手に付着してしまい、手洗いたつもりが完全には取りきれず、そこから感染が広がる事もあります。また床の嘔吐物が乾燥するとウイルスが空気中に漂ってしまい、それを吸い込む事で感染するケースもあります。

冬に注意したい子どもの症状は？

冬は色々な風邪が流行するシーズンです。というのもウイルスは気温が低くなり、湿度が低下すると動きやすくなります。ウイルス表面の水分が少なくなり身軽になるため、ふよふよと空気中を漂いやすくなるからです。代表的な風邪は、インフルエンザとウイルス性胃腸炎です。今回はウイルス性胃腸炎についてお話します。

家庭内の感染対策

子どもの嘔吐物や便を片付ける際には、マスクや手袋の着用、また室内を換気するなどの対策が必要です。排泄物を処理した後はしっかり石鹸で手を洗う事も大切です。ウイルスの種類によってはアルコール除菌が有効でない場合もありますので注意が必要です。